

オレンジフェリーの新旧フェリー乗船会 さよなら「おれんじ 8」とこんにちは「おれんじえひめ」（その 3）

事務局長 池田良穂

「おれんじ 8」を下船して、旧ターミナルビルの待合室で待ち、9時半からの「おれんじえひめ」の招待者用の内覧会に参加させていただきました。背広を着たビジネスマン風の方々が多かったので、カジュアルスタイルの私たちはやや場違いな感じがしなくもありませんでしたが、他のどの招待者よりも熱心に船内を見て回っていました。「この日の夜には乗船するのに!!」と思うのは素人。フェリーに愛着をもつ会員ならではの行動です。

見学終了後は、各自自由行動としました。渡邊会員が企画してくれた国民休暇村での昼食と温泉のオプショナルツアーには 12 名の参加者がありました。

私は車をもっていき、今治での仕事を終えてから、来島海峡大橋を渡って大島に上陸して、IS 造船で建造中の、「おれんじえひめ」の姉妹船「おれんじおおさか」の姿をカメラに収めました。当日の朝に乾ドックから進水したばかりとのことです。

来島海峡大橋は、徒歩、自転車、バイク、路線バスでわたることができます。来島海峡を通過するダイナミックな船の姿をみることができます。10 人ほどの会員は、このコースにでかけたようです。傑作写真をメールニュースで見せていただければと思っています。

さて、波止浜で「おれんじ 8」に別れを告げることができ、海峡が見下ろせる糸山公園でしばらくシップウォッキングを楽しんだ後、東予港に戻りました。





ロビーの各階には公室設備が設けられていました。



船首展望室



展望浴室



広々としたブリッジ



航海計器



ブリッジを見学する招待客



ブリッジの窓から、回航準備中の「おれんじ 8」の姿が見えました。



全船個室化を実現したキャビンです。



レストラン。各種の定食と共に、カフェテリア式の一品料理も選べます。



IS 造船で進水直後の「おれんじえひめ」の姿をカメラに収めました。

「おれんじえひめ」の要目

総トン数 14749 トン
排水量 18864 トン
全長 199.9m
幅 27.5m
喫水 6.7m
プロペラ 1 基 CPP 直径 5.5m
バウスラスター 推力 19 トン 2 基
スタンスラスター 推力 8.6 トン 2 基
旅客定員 519 名
航海速力 19 ノット